

カラフトモメンヅルとモメンヅル・2017 年の現状

千歳市 五十嵐 博

はじめに

2017 年 6 月 6 日に会員の藤田豊氏案内で倶知安町尻別川羊蹄大橋左岸の伐採跡地でカラフトモメンヅルを確認してきた。これは後志地方初記録である。会誌 34 号がマメ科特集だったので、2016 年 7 月に上士幌町音更川でカラフトモメンヅルを 18 年ぶりに確認したが、2017 年 6 月の現地調査では 2016 年 8 月の台風洪水で消滅していた。本種は河川等の不安定な環境に生育することが多いため、過去の確認産地を追跡調査してみた。また、会員各位にも情報提供をお願いしたので、その結果を報告する。情報を頂いた方々にはここでお礼申し上げる。

カラフトモメンヅル *Astragalus schelichovii* Turcz.

故・松井洋氏のテーマ植物だったカラフトモメンヅルを 2017 年 6 月 21 日、23 年ぶりに北見市クトンニコロ沢林道で見えてきた。1994 年に松井氏と見た林道では健在だった。松井氏との共同研究者だった林廣志氏に問い合わせたところ、遠軽町湧別川は洪水で消滅したが町内の林道 2 ヲ所では健在のようだった。林道は 2.5 万分の 1 地形図名では生田原、白滝に位置する。

名寄周辺の天塩川水系のカラフトモメンヅルも追跡調査したが環境変化などで消滅していた。図 1 に●印で示すのが 2017 年に確認された地点 4 ヲ所（倶知安・生

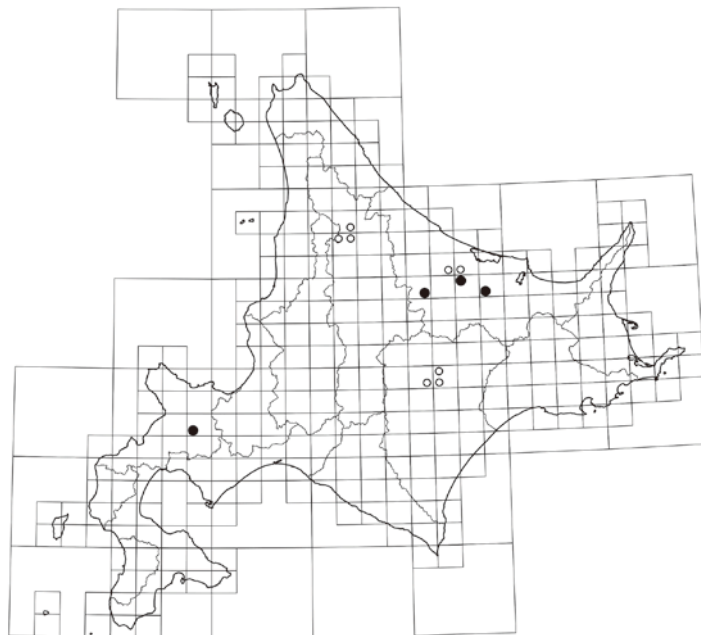


図 1 カラフトモメンヅルの北海道分布